

麻疹（はしか）ってどんな病気？

麻疹ウイルスによってひきおこされる病気です。



約10～12日間の無症状（潜伏期）

熱・咳・鼻水などが出始める

数日後 首筋・顔から赤い発疹が出始め、
熱も高熱となり、発疹は全身に広がります。

38～39度の熱は1週間～10日ほど続くことがあります。

麻疹の発疹



麻疹にかかると、肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、
1000人に1人程度の割合で命を落とすこともあります。
さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化性全脳炎」という重い脳炎が
10万人に1人の割合で発生することが知られています。

どういう人がかかる？

麻疹はとてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。
（インフルエンザ 1人から2～3人。麻疹の場合、1人から12～18人！）

予防方法は？



予防接種を受けることです。

2007年春には、10代から20代を中心に、麻疹の全国流行が起きました。

1回も接種を受けていない、麻疹にかかっていない方はもちろん、1回の予防接種を受けた方でも、免疫ができない、もしくは免疫はできたけれども免疫の効果が弱くなって効果が下がってしまうことがあります。

1人1人が確実に、麻疹にかからないようにするためには、

「2回の接種を受けること」が大切です。

まずは母子手帳で予防接種歴を確認しましょう。

下記「抗体検査って何？」もご参照下さい。

予防接種の費用は？

予防接種には、2種類あります。

「定期接種」：住んでいる市町村が費用を負担してくれます。

・対象 生後12ヶ月以上24ヶ月未満のお子さん

～1歳のお誕生日に予防接種をプレゼントしましょう。

小学校入学前年度の1年間の間にあたるお子さん

～小学校入学準備に2回目の予防接種をプレゼントしましょう。

中学1年生の1年間

高校3年生の1年間

4～6月の間に、
重点的に接種しましょう。



「任意接種」：1万円～2万円程度の費用がかかり、自己負担になります。

接種できる場所（管内）は、[当ホームページ「予防接種」から「任意の予防接種対応医療機関」をクリックして下さい。](#)

予約が必要になる場合がありますので、医療機関にお問い合わせ下さい。

抗体検査って何？

抗体価検査は麻しんの抗体（免疫）の有無を調べる血液検査です。

抗体価が低い状態は、麻しんに感染しやすくなっている状態です。

ワクチンの結果、免疫が得られたのか確認のため行われることもあります。

医療機関に対応の有無、値段をお問い合わせ下さい。

就職や進学の際に必要なですか？

必要な場合があります。

子どもや病気の人など、麻しんにかかると重症化しやすい人と接する機会が多い医療・福祉や保育関係などの職業に就く人には、自らが感染源にならないよう、麻しんに対する免疫を持っていることが求められます。

このような職業に就くために必要な実習の祭には、麻しんに対する免疫を持っていることが条件になることがありますので、過去に麻しんにかかったことが明らかでない場合には、合計2回の予防接種を済ませておくことが大切です。

外国で麻しんになると大変って本当ですか？

非常に大変です。アメリカやカナダ、韓国などでは、麻しん対策が進み、「麻しんの患者は国内にいない」と宣言しています。

こういった国の滞在中に麻しんになると、感染の拡大防止のため、発症した本人の移動制限だけでなく、同行者の移動も厳しく制限されることがあります。

アメリカの学校では、入学の祭に、麻しんの予防接種を2回済ませていることが求められています。

日本では、2012年までに麻しん患者が
日本からいなくなることを目指しています。

ご心配なことは

011-383-2111 江別保健所にお電話下さい。